

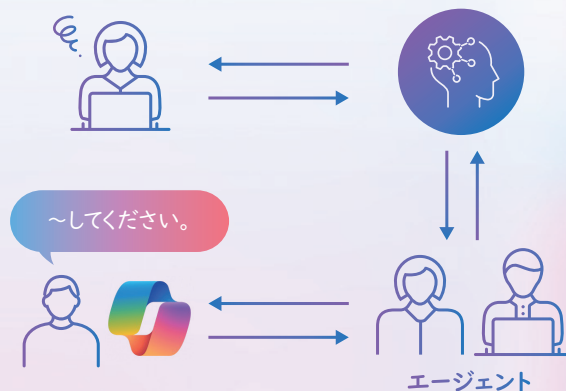
# 特別な仕事は専門家におまかせ エージェントとしての Copilot

行事の準備、生徒の記録の整理、職員会議資料の準備……。

そんな「特定のシーンでちょっと手間のかかる作業」はエージェントにまかせてみましょう。Microsoft Copilot のエージェントは、あなたの「やりたいこと」を理解し、その分野の仕事に慣れた先生のように手助けしてくれる AI です。IT が不慣れな先生にも、もっと簡単に、日々の校務にフィットするかたちでサポートします。

## “エージェントに依頼する”とは？

Copilot の「エージェント」は、“仕事に慣れた専門家”のように、あなたの代わりに考え、動いてくれる AI です。チャットベースの Copilot を使うように、プロンプトのコツの考慮や長いプロンプトは不要です。「〇〇してください」のように簡単に伝えるだけで、エージェントが目的を理解し、必要なルールや手順をふまえて、自動的に作業を進めてくれます。たとえば、「この文章、保護者向けに相手にわかりやすく」「通知文をわかりやすく整えて」と入力するだけで、教育現場向けに設定されたルールにしたがって、仕事に慣れた先生のように文章を整えてくれます。Copilot エージェントは、あなたの「もうひとりの校務担当」のような存在としてそばにいてくれます。



## エージェントに依頼するイメージ

Copilot Chat の画面を開いて、チャット欄に依頼文を入力するだけ。たとえばこんな使い方があります。

指示:「新年度になったので席替えをしたいです」  
席替え専門エージェントの回答:「わかりました。では今の席順のファイルをアップロードしてください。そして特別なニーズがあれば指示してください。」

このように、エージェントにはあらかじめ「どんな目的で使われるのか」「どんなアウトプットにすべきか」が設定されています。逐一細かく説明しなくても、最適な形で仕上げてくれるのがエージェントの強みです。



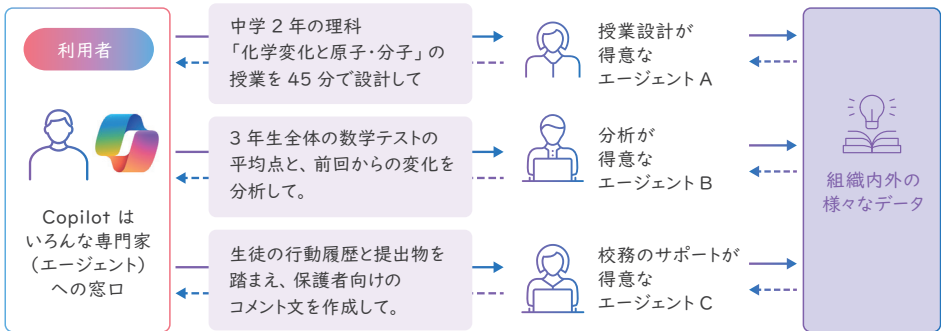
ほかにはどのように使える？

中面をチェック！

## 専門のエージェントを呼び出そう

校務において、独自のルールや配慮が必要な業務があるなかで、たとえば、保護者対応のお知らせ文の作成、生徒の指導要録の記入、校内研修の計画資料づくりといった業務については、特定の形式の書類の作成や文書作成時の言葉使い、記載内容の注意点が存在します。Copilotの「エージェント」は、こうした業務に合わせて、あらかじめ設定されたルールに従って作業してくれる、専門家としてのAIです。

Copilot (Microsoft 365 Copilot Chat) は、担ってもらう役割を自分で定義したうえで、使う必要がありましたが、エージェントは「先生方の仕事の進め方」をきちんと理解した上で、その業務に応じた支援してくれます。やりたいことに合わせたエージェントを呼び出して、よりラクに生成AIを利用していただけます。



## 公開されているエージェントを試してみる

Copilot<sup>®</sup> では、企業が提供している、公開されたエージェントを活用することも可能です。

エージェントには2つの種類があります

- ・Microsoft やパートナー企業が提供している既製のエージェント
- ・組織（教育委員会や学校法人など）が独自に作成したエージェント

たとえば、Microsoft が提供する「Idea Coach」というエージェントを使うと、授業アイデアのブレインストーミングや、研修テーマの発案を手伝ってくれます。まずはエージェントを使うことになれる意味でも、公開されているエージェントの使用から試してみましょう。



## マルチタスクをこなすエージェント

Copilot Studio でマルチタスクをこなすエージェントを作成して、Teams 上で活用することができます。

例えば、出張の予定ができたときには、「出張申請エージェント」を頼ってみましょう。旅費規程に関する質問には、生成AIが規程を参照して迅速に回答します。次に出張申請を行いたいときには、「出張申請手続き開始」と依頼します。業務フロー自動化アプリ (Power Automate) と連携し、同じ画面上でエージェントと会話しながら、申請作業をスムーズに完了させることができます。

- エージェントと会話しながら出張申請の手続きを進め、承認担当者に承認を依頼 (Power Automate と連携した業務自動化)



- 旅費規程の確認 (特定のドキュメントを参照した回答生成)



## 専門のエージェントをつくる

エージェントの作り方はいくつかあります。

【エージェントビルダーを活用する方法】

Copilot Chat の画面から、指示に従って作りたいエージェントの役割を日本語で指定していただけて簡単にオリジナルのエージェントを作れます。

【Microsoft Copilot Studio を使う方法】

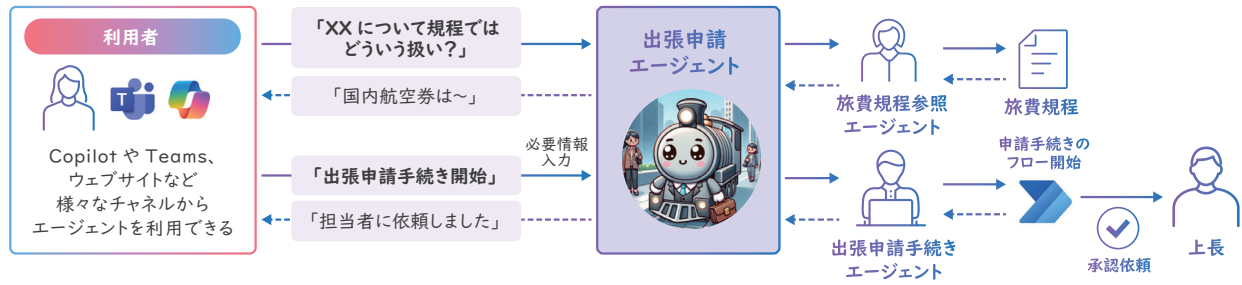
Copilot Studio では、ドキュメントやデータソースを読み込ませて、より複雑で高度な応答ができるエージェントを作ることが可能です。

【Azure OpenAI Service を活用する方法】

開発スキルのある方は、Azure を使ってコードベースでカスタム AI エージェントを開発することもできます。

用途や導入規模に応じて、最適な方法を選べます。

Microsoft Copilot Studio



もっと簡単に一瞬でエージェントを作る方法も！

裏面をチェック！



# もっと簡単に、一瞬で作れるエージェント

校内に保存されている日常業務の文書や資料が SharePoint に集約されていれば、それらを選択するだけで簡単にエージェントを作成できます。作成したエージェントは Copilot Chat 内に組み込み、職員がいつでも呼び出せるようにすることが可能です。校内共有のナレッジを活かした業務支援が、特別なスキルなしで実現します。



## エージェントを作るためのライセンスは？

エージェントが参照するデータに応じて、さまざまな料金体系を用意しています。Copilot Studio を用いて独自のエージェントを構築する場合は、従量課金による利用も可能です。エージェントの利用目的や導入規模、運用体制に応じて最適なライセンス構成を選べます。



### Microsoft 365 Copilot Chat

#### 1 Free(with Entra ID sign-in)

Web を参照する  
エージェントの利用

#### 2 従量課金プラン

企業データや 3rd party データと  
連携するエージェント

+

自律型アクションを実装した  
エージェント※



### Microsoft 365 Copilot

#### 3 Microsoft 365 Copilot ライセンス

Microsoft 365 Copilot Chat ができる  
すべての機能 (自律型アクション除く)

+

- Microsoft 365 apps で利用可能な Copilot
- SharePoint から作成するエージェント

※自律型アクションを行うエージェントを利用できるのは、従量課金モデルのみです。



Microsoft 365 Copilot Chat におけるエージェントの有効化と、課金形態についての  
詳細はこちらのブログの情報も参照ください。

<https://www.microsoft.com/en-us/microsoft-copilot/blog/copilot-studio/enabling-agents-in-microsoft-365-copilot-chat/>



## Microsoft Education の WEB サイトはリニューアルしました



最新ガイドとカタログ  
詳しくはこちら >>>



教育版マインクラフト  
詳しくはこちら >>>



ICT ツール使いの方ガイド  
詳しくはこちら >>>



### 本リーフレットについてのお問い合わせ

本リーフレットに記載された情報は制作当時 (2025 年 4 月) のものであり、閲覧される時点では、変更されている可能性があることをご了承ください。

本リーフレットは情報提供のみを目的としています。Microsoft は、明示的または暗示的を問わず、本書にいかなる保証も与えるものではありません。

製品に関するお問い合わせは次のインフォメーションをご利用ください。

■インターネット ホームページ <https://www.microsoft.com/ja-jp/>

■マイクロソフト カスタマー インフォメーションセンター 0120-41-6755 (9:00 ~ 17:30 土日祝日、弊社指定休業日を除く) ※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

\*記載されている、会社名、製品名、ロゴ等は、各社の登録商標または商標です。

\*製品の仕様は、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。



日本マイクロソフト株式会社

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-3 品川グランドセントラルタワー